

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2020年・秋冬号

vol.356

|季|刊|発|行|

日赤News

ほっとニュース

新型コロナウイルス対策に対する
ご支援に感謝いたします

しずおかクロス NAVI

「Web産科教室」開催しています!



[特集]

早期発見・早期治療のために

積極的な乳がん検診を

しずおか日赤
訪問看護ステーション
からのお知らせ

information

「糖尿病教室」「腎臓病教室」

「赤十字講習会」休講のお知らせ

検温にご協力下さい

注目の
トピックス

今号のテーマ: 乳がん

早期発見・早期治療のために 積極的な 乳がん検診を

毎年10月は、乳がんに関する啓発活動が世界的に展開される「ピンクリボン運動」の強化月間。この機会に乳がんに対する理解を深め、女性の健康を考えてみませんか。本年より乳腺外科に着任した菊池医師にお話を伺います。

教えて
ドクター
Q & A

外科
菊池 雅之 医師

本年4月に当院に着任。趣味はランニング。「…だったはずが、安倍川沿いのコースが気持ちよくて走り過ぎ、早々に足を傷めてしまっ(笑)」。休日はもっぱら家族と過ごすそう。

Q 乳がんにご注意したい年齢や体質はありますか？

A 日本の乳がんの罹患率は30代後半から増加し、40代後半～50代前半でピークに。さらに閉経後の60代前半で再び増える傾向があります。リスク要因としては初潮が早い、閉経が遅い、初産が遅い、出産歴・授乳歴がないことなどが挙げられます。遺伝的要因も指摘されているので、母娘、姉妹で乳がんになった人がいれば注意が必要です。また、閉経後は肥満がリスクになることも。乳がんの背景には食生活の変化も指摘されていますから、バランスの良い食事や適度な運動、喫煙や飲酒を控えるなど、基本的な生活習慣を見直すことがリスク低減につながります。

Q 浸潤がんだった場合の全身治療はどのようなもの？

A 抗がん剤やホルモン療法などを用いる薬物治療が行われます。患者さんのがんの性質を見極めるためにがん細胞を免疫染色などで調べてタイプ分けし、さらに全身状態やご本人の希望を考慮した上でひとりひとりに合った治療方法を決定します。参考にする項目としては、「ホルモンの影響」を見極めるホルモン受容体、がん細胞の表面に発現する「HER2タンパク」、細胞の増殖力を判断する「Ki-67値」などが代表的。乳がんはこの薬物治療が効くケースがとても多く、近年このサブタイプ分類が浸潤がんの治療に重要であることが分かっています。



年間罹患者は9万人、 乳がん患者は増加の二途

様々ながんの中でも、日本人女性がかかる確率がとりわけ高い乳がん。母乳を作る小葉と、母乳を運ぶ乳管からなる、乳腺という組織にできる悪性腫瘍です(図1)。生涯において乳がんになる日本人女性は50年前は「50人に1人」と言われていましたが、現在は「11人に1人」まで増加。1年間に9万人を超える患者さんが新たに乳がんと診断され、その数は増加の一途をたどるばかり。背景には食生活の欧米化や、女性の社会進出による晩婚化が関係しているといわれます。

がんの性質と状態を見極め 最適な治療で根治を目指す

乳がんの治療は「局所治療(手術、放射線照射)」と「全身治療(抗がん剤、薬物治療、ホルモン療法など)」から成り立ちます。検査の結果問題がなければ、多くの場合はまず手術でがん細胞を切除しますが、乳がんは切除だけで必ず治る病気ではありません。がん細胞が小葉や乳管の中に留まっている「非浸潤がん」であれば切除でほぼ治りますが、がん細胞が大きくなって乳管の外側の組織まで広がる「浸潤がん」になっていけば、リンパ節や他の臓器に転移する可

能性が出てきます。浸潤がんの診断がついた時点では既に細かいがん細胞が全身に散らばっていると考えられるため、局所治療だけでは根治は難しい。そのため、がん細胞の増殖や成長を抑えるための全身治療が必要になるのです。

早期発見が何より重要! 必ず受診したい定期検診

乳がんは他のがんと比べて比較的進行が遅く、多くの場合は発見されたら即座に死に至る病ではありません。近年はサブタイプによる分類(右ページQ&A参照)が成果を上げていますし、優れた抗がん剤の開発で治療の選択肢も広がっていますから、適切な治療をきちんと続けていけば再発は防げます。何より大事なのが早期発見と早期治療、そしてそのためには定期的に検診を受けることが重要。現在日本では、40歳以上の方で2年に1回、視触診とマンモグラフィによる乳がん検診が推奨されていますが、受診率は40%程度と、欧米などと比べると低い(図2)。乳がんによる死亡数が増加しているのは先進国の中では日本だけで、これには検診受診率の低さも関係していると考えられます。当院でも検診を行っていますので、この機会にぜひ当院健診センターへ問い合わせてください。

図2) 女性の乳がん検診受診割合(50-69歳)

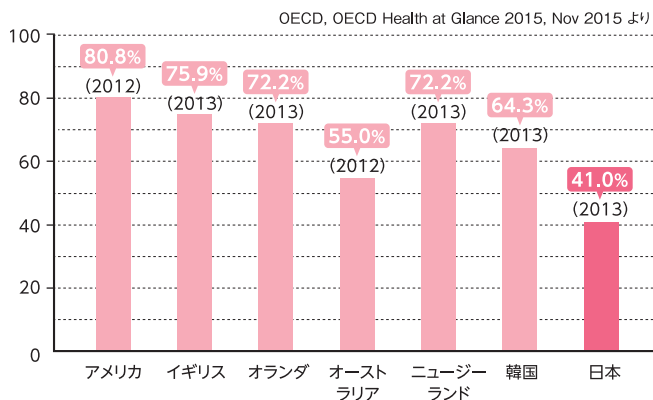
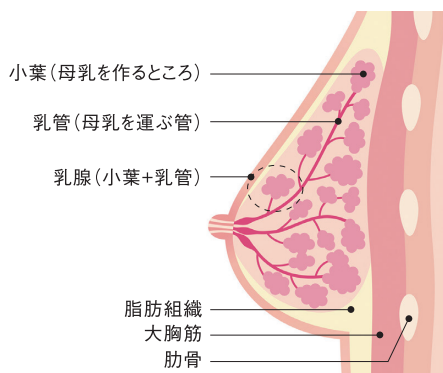


図1) 乳腺組織の構造



き、積極的に定期検診を受けていただきしたいと思います。

▶ INFORMATION

しずおか日赤 訪問看護ステーション からのお知らせ

自宅療養上のケアや看護サービスを支えるしずおか日赤訪問看護ステーション。本年7月からは専属看護師6名に理学療法士が加わり、リハビリの訪問看護も充実。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。地域の医療関係者、ケアマネージャー様からのご相談もお待ちしています。

しずおか日赤訪問看護ステーション
TEL.054-254-4500

表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

感染制御チーム(左から)

森田洋平さん(総合内科 医師) 松本朋美さん(総合内科 医師)
山田ちな美さん(看護師) 北堀裕子さん(看護師)



流行性感染症が心配されるこれからの時期。当院内で感染防止対策の中心として活躍しているのが、医師、看護師、薬剤師、検査技師などで構成される感染制御チームです。チームを代表して、内科の森田先生・松本先生、感染管理認定看護師の北堀さん・山田さんが登場。全ての方に、安全な療養環境の下で安心して治療を受けていただけるよう、日々努力を続けています。



新型コロナウイルス対策に対する ご支援に感謝いたします



年頭より世界的に広がった新型コロナウイルス感染症。当院では患者さん、職員などへの感染防止のため、現在も一丸となって努力を続けております。

このような状況下、多くの皆様より温かな応援や感謝のお手紙、ご寄付などのご支援をお寄せいただいております。皆様のご厚情に心よりお礼申し上げます。当院では今後も、患者さんや関係医療機関に対して、良質で満足度の高い診療の提供ができるよう、職員一同日々努力していく所存です。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

【ご支援いただいた企業・団体・個人の皆様】 ※順不同

タカラエムシー様

トーヨー様

中央静岡ヤクルト販売株式会社様

ダノンジャパン株式会社様

すながわこどもクリニック様

CRAFT様

えいもと内科消化器科クリニック様

静岡ガス様

株式会社TRW 代表取締役 若杉理様

静岡クラブメンター様

よつばあえる 石原沙南様

丸万株式会社様

京セラ株式会社様

京セラドキュメントソリューションズ株式会社様

静岡県牛乳協会様

不二工業建設株式会社

全国病院用食材卸売業協同組合様

明治安田生命保険相互会社様

アネスト岩田株式会社様

日立製作所様

東海カルバートサービス株式会社様

他 匿名希望者様 3名



タカラエムシー様



トーヨー様



CRAFT様



TRW 静岡クラブメンター
よつばあえる様



明治安田生命保険相互会社様

INFORMATION

インフォメーション

「糖尿病教室」「腎臓病教室」 「赤十字講習会」休講のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止のため、「糖尿病教室」「腎臓病教室」「赤十字講習会」についてはしばらくの間、開催を休止します。再開についてはホームページで随時お知らせいたします。

なお「赤十字講習会」については、日本赤十字社静岡県支部・講習普及係までお問い合わせください。

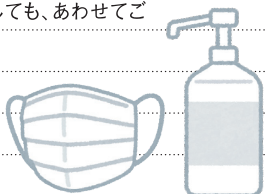
検温にご協力下さい

現在、当院のすべての入口において、当院に来院されるすべての方に対して検温を実施しています。またマスクの着用と手指の消毒に関しても、あわせてご

協力をお願いしています。

皆様のご理解とご協力を

よろしくお願いいたします。



暮らしに役立つ情報をおとどけ

しずおかクロス NAVI

「Web産科教室」開催しています！

当院では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月より産科関連の各講座（産科教室、マタニティーヨガ、ハッピーバースクラス、パバクラスなど）を中止、これに代わるものとして、5月より全国に先駆けて「Web産科教室」をスタートしています。

これは当院での出産を控えた妊婦さんとそのご家族を主な対象に、自宅で産前の心身のケアを行っていただくためのオンライン講座。約25本の動画を含む内容は、全て当院助産師と医師によって制作されたもので、現在は管理栄養士との協力の下、妊娠中の栄養管理に関するコンテンツも制作中（近日公開予定）。視聴に必要なパスワードは当院に通院中の妊婦さんにマミールームでお渡ししています。

すべての妊婦さんが安心して自分らしい出産ができるよう、産科スタッフ一同、力を尽くしてまいります。

助産師が動画で
丁寧にお伝えします

